

文化祭「人権啓発コーナー」 11月15日(土)～16日(日)

◆◆人権クイズに挑戦してヨーヨー釣りを楽しもう!◆◆

文化祭の「人権啓発コーナー」で、初の試みとして、人権クイズに挑戦していただきました。挑戦者には、ヨーヨー釣りのプレゼント。昔を懐かしみながら慎重に吊り上げる大人たち。お気に入りのヨーヨーを釣ろうと真剣な表情の子どもたち。世代を超えた楽しい活動を通して、人権意識の向上を図りました。



国際交流会

12月6日(土)

◆◆ミャンマー料理の実習と講話◆◆

日本にとって歴史的にも文化的にもなじみが深いわりには、あまりよく知らないという国の一つであるミャンマーからの留学生 Cho・Zin・Oo (チャー・ジン・ウー) 先生をお招きして、ミャンマーの家庭料理「チキンとポテトのカレー」の作り方を教えていただきました。参加者は、ルーを使わないカレー作りに興味津々で、途中で何度も味見をしながらおいしく仕上げました。ミャンマーの文化や食生活に関する話も聞いて、世界にはいろいろな国々があることを実感しました。



参加者の感想 (抜粋)

- 知らないことばかりでしたが、ミャンマーに興味がありました。調味料を買って、インターネットで調べながら他にも挑戦したいと思います。
- 料理は国に関わらず皆がする共通のことなので、先生と多くの話ができてよかったです。
- 質問コーナーで習慣の違いを教えていただき、ミャンマーのことを知ることができました。ミャンマーが少し身近な国になりました。



人権週間ポスター・標語作品展 12月4日(木)～10日(水)

下津井東小学校、下津井西小学校、下津井中学校の児童・生徒のみなさんのポスターと標語の作品を展示し、大勢の方にご覧いただきました。標語を口ずさんだり、知り合いの絵を見つけて喜んだりするなど、和気あいあいとしたすてきな雰囲気の作品展となりました。



人権だより 第74号

かけはし

下津井中学校区人権テーマ：考えよう みんなの人権 未来の社会
重点課題：子ども・高齢者、地域に根ざしたふれあい活動

発行 令和8年2月
発行者 下津井中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市下津井公民館
倉敷市下津井2-815-1先
TEL/FAX：(086) 479-8633
E-mail：ph-shimotsui@kurashiki-oky.ed.jp

人権学習推進委員会総会

令和7年5月23日(金)



5月23日(金)に、下津井中学校区人権学習推進委員会総会を開催しました。令和6年度事業報告・決算報告・監査報告、令和7年度事業計画案・予算案等の協議を行い、承認されました。今後も、「子ども・高齢者、地域に根ざしたふれあい活動」を通して、人に優しい、住みよいまちづくりを推進してまいります。

席務 会計	啓務	総務 局長	事務 局長	推進 委員	監査	副会 長	会長	令和7年度 下津井中学校区 人権学習推進委員会名簿																							
村中	池田	渡邊	秋田	岡村	星野	荻野	森本	中桐	渡辺	吉田	山崎	松枝	藤原	藤原	原浩	新田	鷹野	隅田	佐々木	楠本	川崎	片山	岡昇	岩津	松枝	岩中	尾崎	山崎	小西	田浦	
佳子	弘美	翔平	貴司	理絵	克巳	佳奈美	正樹	千佳	陽子	政美	泰子	洋子	賢治	美菜子	悟	節子	千加子	卓和	新太郎	公美子	剛志	睦雄									

人権教育講演会

令和7年6月25日(水)



令和7年6月25日に、障がい者支援員 横路悠平氏をお招きし、人権教育講演会を開催しました。幼少期から今現在までの横路氏の具体的な体験談をお話いただき、共感したり驚いたりしながら「発達障がい」や困り感のある方々への理解を深めることができました。障がいをネガティブにとらえるのではなく、「そんなものか」とポジティブにとらえることや、いろいろな違いをお互いに認め合いながら関わり合うことの大切さを教えていただきました。

数々のつまずきや生きづらさを抱えつつも、そのデコボコした道からやっとな自身やりた道を見つけ、生き生きと歩んでおられる横路氏の姿から、自分らしく生きていくことのすばらしさに気付かされました。参加者一同、大きな勇気と元気をいただくことができた講演会でした。



小中学校の人権の取組

下津井東小学校

年間を通して、学校全体でグッドビヘビアカード（よい行い、よい振る舞いを認めて褒めるカード）の取組を行っています。児童が行った望ましい行動や友達（学級、学校）のためにした行動を全教職員で認め、そのすばらしさを褒め励ましていくことで、児童が自分の長所や頑張りに気付いていけるようにと思い、取り組んでいます。

9月のPTA人権教育研修会では、「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」をテーマに動画を視聴しました。そして、性的マイノリティについて考え、保護者同士で大人の私たちにできることを話し合いました。保護者からは、「デリケート

な内容ですが、家庭でも話をしないといけないと思った。」「子どもの気持ちに寄り添い、理解し、受け止める姿勢が大切だと思った。」などの感想をいただきました。

また、6月と12月の年2回、「友達いっぱい旬間」を行いました。友達ともっと仲良くなることや、お互いを知り、認め合い、より優しく関われるようにすることをねらいとしています。各学級で人権に関するめあてを児童が決めて掲示したり、児童全員が人権標語と人権ポスターを作って校内に掲示したり、「下津井東小学校いいところ見つけの木」を満開にしたりする取組をしました。そうする中で、児童が友達のよいところを見つめようとしたり、よりよい接し方をしようとしたりする意識を高めていくことができました。



グッドビヘビアカード



各学級のなかよしのめあて



下津井東小学校いいところ見つけの木

下津井西小学校

下津井西小学校では、6月のなかよし週間、11月のなかよし旬間の年2回、児童の主体性を大切にしながら人権に関する取組を行っています。なかよし集会の「人権〇×クイズ」や「ふわふわことばいっぱいキャンペーン」など、活動を通して思いやりの気持ちを育むことを大切にしています。また、異学年交流にも力を入れています。代表委員会で話し合っただけでなく、全校のみんなで楽しむ「下西オリンピック」は、下津井西小学校の自慢の活動の一つになっています。

さらに今年度は、下津井西小学校が閉校となることから、親子でカウントダウンカレンダーをつくらったり、下西感謝祭を盛り上げるために縦割り班で手形文字をつくらったりするなど、様々な場面で交流の機会をもつ

ようにしました。

今後も、子どもたちが優しい気持ちで相手を思いやる行動ができるよう、様々な取組を進めていきたいと考えています。



下西オリンピック



カウントダウンカレンダー



ふわふわことばいっぱい
キャンペーン放送

下津井中学校

下津井中学校では、広島平和学習やクラスのすてきな行動チャートの作成など人権に関する取組を、昨年度に続けて行いました。今年度は、「人とのかかわり方」をテーマとしたPTA人権教育講演会に生徒も参加しました。

この講演では、物事の考え方が人それぞれ違うということを体験したり、アンガーマネジメントやリフレーミングについて学んだりしました。また、日頃使いがちな「ちゃんと・きちんと・しっかり」という言葉で伝えようとするのではなく、具体的に伝えることの大切さについても学びました。

来年度から始まる義務教育学校でも、今回の学びを生かしながら、互いの違いを尊重し合い、どの学年ともよりよい関わりを築いていけるようにしていきたいと思っています。



研修視察

9月20日(土)

◆◆岡山市人権啓発センター・渋染一揆資料館 常福寺他◆◆

本年度は、「渋染一揆」についての研修視察を行いました。岡山市人権啓発センターで講話を聞き、渋染一揆資料館を見学した後、常福寺を訪れました。講話では、たくさんの気付きがあり、参加者一人ひとりの知識がアップデートされました。そして常福寺では、当時からあったと言われている大銀杏の木を見上げながら当時の様子を想像し、感慨深いひと時を過ごしました。

